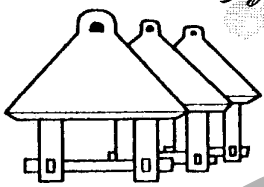


やまと



〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100

# 議会だより

第59号

平成28年9月発行

編集：議会広報委員会

発行：大和村議会

☎ 0997-57-2216(直)

FAX0997-57-2967



献血にご協力くださる村民の方々（10月26日大和村役場にて）

## 主な内容

第1回定例会 一般質問（4人）	2～6
平成28年度 当初予算可決	7
平成28年度 当初予算の主な事業費（一般・特別）	8
平成28年度 予算審議委員長報告	8～10
第1回定例会	11～13
気持ち新たに、議会へのぞむ	14～16
新人議員から一言	17
第1回臨時会	17～18
第2回定例会 一般質問（6人）	19～24
第2回定例会	25～26
議会の動き・編集後記	27～28

# 第1回 定例会 一般質問(4人)

平成28年第1回定例会(3月)において、4名の議員が一般質問を行い、大和村まち・ひと・しごと創生総合戦略、0歳児保育、大金久と戸円の間のトンネルの早期整備などについての行政施策をたしました。質問及び答弁要旨については次のとおりです。なお、質問者が皆様にお伝えしたい内容を前面に出せる表記を行うために、編集のあり方は各議員の裁量としております。  
(3月11日 本会議)

## 大和村まち・ひと・しごと創生総合戦略について

事業の優先順位が決定しているが、具体的な事業展開の素案は練られているのか。今後どのような形で進められるのか、具体的な施策と、28年度予算とのリンクについて示せ。

(答弁) 推進本部を中心に最優先で実施すべき事業として、観光ガイド育



蔵 正 議員

成、シルバー人材センター設立、果樹の村活力再生事業などを選定し、実施方法の検討、事業の予算化事業実施の流れで取り組む。28年度予算には、地域おこし協力隊の活用、婚活支援活動、移住体験住宅活用等が計上されている。



「果樹の村大和村」の活力再生事業が優先度A(最優先で実施すべき事業)の一つになっているが、全庁体制でどのような取り組みを実施するのか。

(答弁) スモモ、タンカン、津之輝、マンゴーを中心とした苗木助成、樹園地・樹木の調査、実証農園の観光農園化(果樹植栽)、トップセールスによる首都圏でのPR活動及びまほろば館を中心とした特産品の広報、販売等を行う。

活力再生の力ギは何か。

(答弁) 担い手や新規就農者の発掘及び指導体制の充実による栽培管理の向上、農地集積及び農地中間管理機構を利用した

貸借の活性化と考える。

今年のスモモの取扱いにおける、活力再生策は何か。

(答弁) 従来の栽培管理指導を継続し、大玉化による収益アップ及びK-GAP取得による有利販売並びにスモモコンテストを開催し新たな加工品開発等、農家の所得向上を図る。

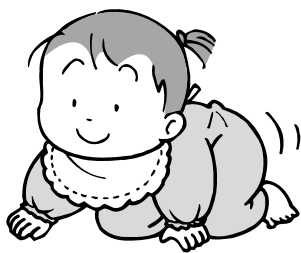
人材の活用について

地域おこし協力隊の活動の詳細について示せ。

(答弁) 隊員の持つ「様々な媒体を活用した情報発信」能力を軸に、観光交流分野、移住定住促進分野での活動を進めて貰いたい。

地区外（都市圏等）における人材（販売・企画）の活用について検討するべきではないか。

（答弁） まずは、特産品や加工品の量の確保が大きな課題となっている。都市圏での販売やPRについてはいろんな方向が考えられるが、地域おこし協力隊を活用し情報発信しながら、トップセールスによる現体制での販売・PR活動に力を入れていきたい。



## 0歳児保育について

0歳児から2歳児までの保育は終結（平成27年12月議会の村長答弁で、財政面、保育士の面、館の面で検討した結果、困難と判断）したが、何らかの支援を考えているとのこと。どのような支援策を考えているのか。

（答弁） 子育て支援の実を図るためには、へき地保育所入所までの対応策として、不平等が生じ



民 文 忠 議員

## 2歳児の保育園の入所について

ないような助成制度について現在検討中。0歳児を託児所に預ける人もいるが預けない人もいる。現在、0歳児は預けるという前提で、子育てをしている人たちに育児助成同等の助成制度が必要ではないかという検討を進めている。

2歳児の保育所の入所について、今までは母親が仕事をもたないと

2歳児になっても入所できないとのことだったが、現在はそのようになっているのか。また、2歳になる前でも入所できるのか。

（答弁） 2歳児以降は入所だが、「2歳児」と「2歳到達児（満2歳になった児童のこと、定義上1歳児）」では意味が異なるので、どちらに当てはまるのか担当職員と相談してほしい。

### ※児童の呼び名の違い

「1歳児」……年度の途中で満2歳になる児童も、その年度中は、定義上「1歳児」とみなす。（現状では、入所にあたり、自宅保育困難理由書、仕事、妊娠、親の介護、求職活動などの書類を提出してもらっている。）

「2歳児」……年度当

初の4月1日時点で満年齢が2歳になっている児童を、定義上「2歳児」とみなす。（入所にあたり、理由書等の提出は必要ない。）

## 文化の継承について （八月踊り）

親が文化の伝承をしていけば子どもは自然と習うと思うが、2年に1度ぐらいで村の文化祭ができないものか。

（答弁） 村内すべての学校で、運動会での八月踊りの披露に向け地域の方々の御指導をいただき、伝承に努めている。文化祭についても、各集落の気運が高まりそういうものを出したいという風潮が出てきたとき、また数年に一度のサイクルで企画できればと思っている。区長さんなどをお願いしながら進めていきたい。



勝 山 浩 平 議員

## 大金久・戸円のトンネル整備について

早期実現へ向け、今後、国・県へどのような取り組みをしていくのか。

は大金久と戸円間のトンネル整備が必要との思いで実現に向けて取り組んでいる。今後もあらゆる機会を捉えて、国・県への要望活動や陳情活動を行っていく。

(答弁) 公共事業の採択

には、地籍調査の完了が必須なので、大金久地区と戸円地区を平成26年度から調査開始し、平成29年度の完了を目指し、地籍調査の推進を図っている。宮古崎トンネルの整備が着工しているが、次



## 高齢者の医療費を無料化することで、医療費の抑制につなげている自治体の調査について

高齢者の医療費無料化を行うことで、病気の早期発見・治療が進み、医療費の抑制につながっている自治体がある。本村の医療費抑制と健康な村づくりへ向け、このような自治体の調査研究を行ってはどうか。

(答弁) 無料が故に複数の

の病院受診や過剰受診などが増加し、財政負担などに影響していくと考える。医療費適正化については、各種検診の受診率の向上、重複・頻回受診の保健指導等を行うなど、医療費の抑制に努めてい

る。診療所と打合せを行いながら、他自治体の医療費の実態等について調査をしたいと思う。

## 観光用ロープウェイ整備による地域の活性化について

観光の主要な施設となり、また、観光客の森林への進入による環境破壊に対する代替交通手段として期待がもてるが、自然遺産区域の整備計画を審議する地域連絡会に提案し検討を進めてはどうか。

(答弁) 膨大な観光客の

入り込みが想定されるので、観光客の森林散策による自然環境への負担軽減に加え、交通体系の問題や重要地区の利用制限等においても効果が期待

できる施設になると考える。関係団体等と十分に議論を重ねながら検討していきたい。

## 学校給食費の軽減による子育て支援策の拡充について

子育て支援策の拡充によつて人口減少対策を図るとしているが、学校給食費の軽減は保護者の経済的負担を大きくやわらげ、子育て支援の拡充につながると思うがどうか。

(答弁) 本村では保護者の

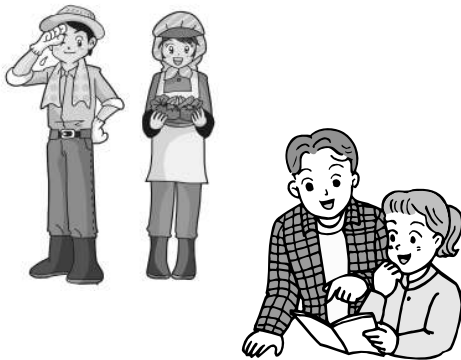
負担軽減のため学校給食費を助成しており、月当たり、小学校は2、220円、中学校は2、700円を村が助成している。給食費の軽減は、保護者の経済負担の軽減に

なるが、本村は様々な子育て支援を行っており、今、行っている助成制度の何を充実させていったほうが住みやすいのかというのを今後、検討していきたい。

## 大学などの高等教育機関の設立・誘致について

大学などの誘致は地域への波及効果が非常に大きく、様々な分野での相乗効果が期待される。将来的に本村に定住し、活躍できるような人材育成を担う学部を有する大学などを設立または誘致していくべきではないか。

(答弁) 大学誘致は地域に対する波及効果が大きく、地域活性化の大きな



起爆剤になると考えるが、地元定着率を高めるカリキュラムを構築しなければ、長期的な人口の増加には高い効果が発揮されない。奄美で生きる術を学ぶという基本理念を基に、奄美、大和村の自然、文化などの財産を生かした地域産業の起業及び就農等の一次産業への従事を果たせる奄美学部を創設することが望ましい。現在、村が連携協定を結んでいる鹿児島国際大学と学部の創設について検討している。

## 大和村、まち、ひと、しごと創生総合戦略(案)について

どの自治体も創生戦略の中の1丁目1番地に上げるのが人口減少の歯止め対策である。12市町村の中で本村の人口減少率が最大の13.37%であり、2005年、2010年では240人ずつの減少である。本村も他の町村同様、創生総合戦略のす



奥田忠廣 議員

べては人口問題が大きなのかかっていると思う。創生の2060年、人口目標を1、400人としているが、人口目標は過大すぎないか、人口目標を誤ると創生総合戦略はどうなるのか。

(答弁) 国が国全体の将来目標人口を2010年の約8割と目標設定をしているので、国と同様の2010年の人口の約8

割を目標として設定をしました。社会人口動態研究所の推計において、本村では2015年に人口1、633人となっていますが、国勢調査速報値においては1、529人と、推計値より104名も下回る厳しい現実です。総合戦略におきましては、将来人口目標達成のための目安として、「合計特殊出生率1.78を2.10」、「転出抑制を年15人」、「目標転入を年10人」ということで掲げており、将来人口目標を現状の1、400人とするのか、下方修正するのかは、地方創生事業の実施状況をPDCAサイクルにおいて精査・検討したいと思います。人口減少の大きな要因は、自然減少もありますが、やはり本村に雇用の場がないというのが

大きな原因ではないかという認識をしています。

私は、シルバー人材センター設立（以下センター）について、3度ほど一般質問で設立について質問をしたが、職員確保などの要因で困難との答弁であった。創生総合戦略の中で、センターは優先度Aランクになっており、私の以前の質問と創生総合戦略の目的・効果はほぼ同じである。創生戦略の中で目的・効果を考えると、28年度設立が可能な事業だと思う。センター登録者数60人は、男女合わせた人数なのか、現在日本では男女共同参画が基本であるが、女性の登用も考えているのか。

（答弁） センターについ

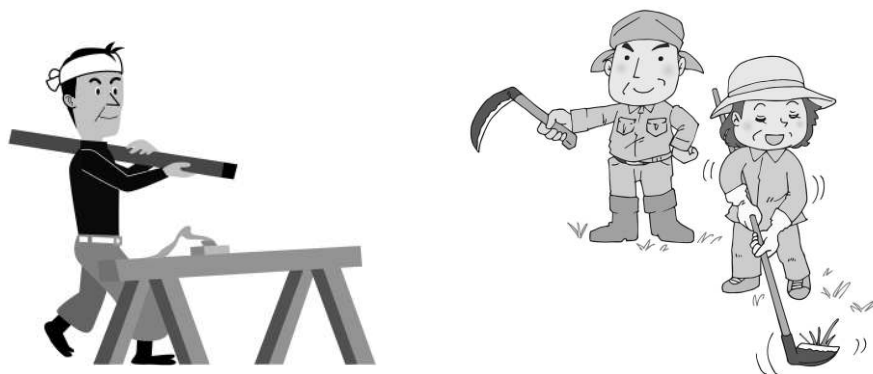
ては、人材の宝庫ともいえる高齢者がその知識・技術を発揮し、地域活性化のキーパーソンとなつてもらうために必要な組織であり、センターを設立することによって高齢者にやりがい、生きがいを創出する社会を構築することができると考えております。また、センターによって、高齢者の活躍の場を整備することは、元気なシニア層の移住定住促進にも効果を発揮するものと思われまふ。センターは、新しい雇用の創出、新しい人の流れ、やりがい、生きがいを感じる地域づくりという3つの要素をもち、大和村総合戦略においても優先順位Aに位置付けられる事業であることから、早期設立に向け検討してい

きたいと思ひます。60人の雇用目標は、65歳以上の全体の6000人のうち約1割を見込んで60人であり、女性も入れた形の数字と考えています。

28年度設立が可能なのか、センター登録の人は選はどのように行うのか。私が質問したのは、年金受給者の中でも少ない額の老齢年金受給者について登録者のセンター設立を申し上げている。28年度設立の可能性、登録者人選方法、少額年金受給者への対応、この4点について村長の答弁を求めたい。

（答弁） 設立にはいろいろな手続が必要で今の雇用体系を継続し、設立の準備を進めていきたい。ま

た、高齢者がどこまで軽作業ができるのか把握しながら、体制づくり、働く人の確保をしていきたい。



# 議会を傍聴しましょう

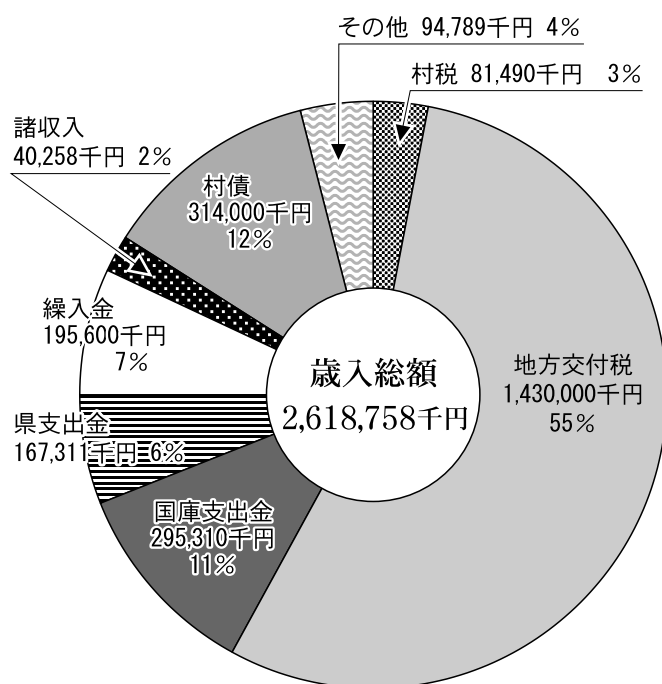
議会の定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)

行われます。 お問い合わせ先 ☎57-2216 (直通)

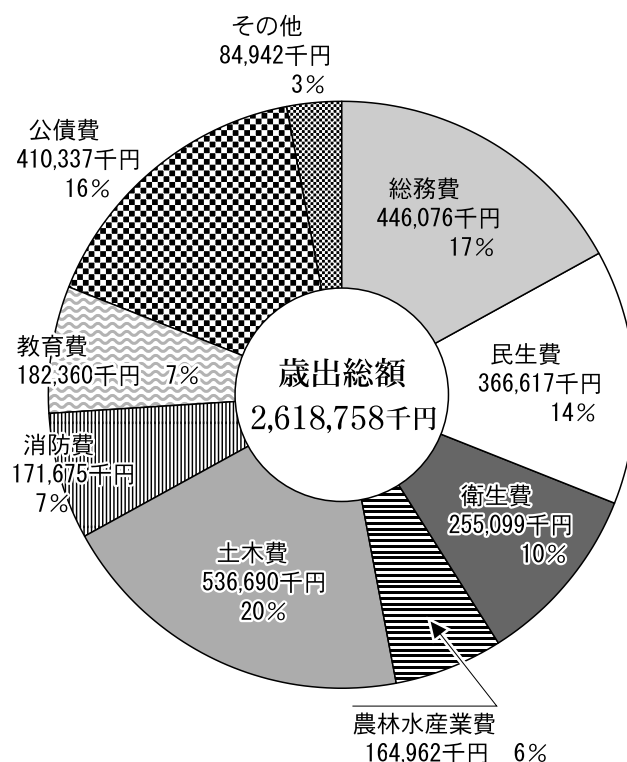
# 平成28年度 当初予算可決

平成28年度の一般会計及び各特別会計予算は、予算審査特別委員会に付託され、最終本会議で予算審査特別委員長報告（8面に掲載）があり、各会計とも原案可決されました。  
各会計の当初予算状況は次のとおりです。

平成28年度一般会計当初予算 歳入



平成28年度一般会計当初予算 歳出



## 【平成28年度各会計当初予算状況】

会 計 名	予 算 額	対前年度対比
一 般 会 計	26億1,875万8千円	6,473万7千円増
簡易水道特別会計	7,446万8千円	79万7千円減
国民健康保険特別会計	3億2,009万7千円	3,662万4千円減
大和診療所特別会計	1億541万9千円	1,161万9千円増
介護保険特別会計	2億7,104万6千円	1,538万9千円減
大和の園特別会計	1億8,471万7千円	971万7千円減
集落排水事業特別会計	2億7,603万7千円	384万2千円減
後期高齢者医療特別会計	2,174万円	146万1千円減

## 平成28年度 当初予算の主な事業費（一般・特別）

●社会資本整備総合交付金事業費 （大棚名音線改良・橋梁補修事業他）	2億73,560千円
●村営住宅建設事業費 （思勝地区 1棟4戸建）単身用	60,000千円
●大和港海岸長寿命化計画策定事業	16,500千円
●東部地区農業集落排水事業費 （管路布設・処理施設外構工事）	93,000千円
●中部地区農業集落排水事業費 （管路布設・処理施設設計）	1億18,070千円

## 平成28年度

# 予算審議委員長報告

予算審議特別委員長 蔵 正

去る、3月7日の本会議において、本予算審議特別委員会に付託を受けました。

議案第12号  
平成28年度大和村介護保険特別会計予算について

議案第8号

平成28年度大和村一般会計予算について

議案第13号  
平成28年度大和村集落排水事業特別会計予算について

議案第9号

平成28年度大和村簡易水道事業特別会計予算について

議案第14号  
平成28年度大和村大和の園特別会計予算について

議案第10号

平成28年度大和村国民健康保険特別会計予算について

議案第15号  
平成28年度大和村後期高齢者医療特別会計予算について

議案第11号

平成28年度大和村大和診療所特別会計予算について

以上、8件の当初予算議案について、審議内容と結果について報告いたします。

本村の平成28年度予算編成については、村長の施政方針にもあるように、1.「行財政改革の推進による健全財政の確率」

2.「観光振興による交流人口の拡大」

3.「農林水産業の振興による村の活性化」

4.「子育て支援及び教育環境の充実」

5.「道路交通網、情報通信網、生活環境の整備促進」

6.「防災力の強化・高齢者福祉の充実による安全・安心な村づくり」

7.「定住促進の充実・強化による人口減少対策」

の7項目の基本方針が示され、特に「観光振興」に力を入れ交流人口拡大による本村の活性化を図ろうという予算編成になっています。

本委員会は、3月8日午前中に主な箇所の現地調査を行い、建設残土場





予 算 審 議 委 員 会

工事、村営住宅建設事業、橋梁補修事業、道路改良事業など、計4箇所の事業説明を受け、3月17日、18日の二日間において、村長、副村長、教育長及び各関係職員の出席を求め、一般会計及び各特別会計予算案の審議を行いました。

一般会計予算の審議は、

17日午後から18日の午前中にかけて行われ、全委員が質疑を行い、審議をいたしました。

一般会計予算の審議は、人口減少対策を中心に、村長の施政方針にある7項目の基本方針について質疑がされました。

詳細な審議につきまして、「観光振興」について

では、現在駐車場やトイレ等が無く、利用しづらい状況にある、群倉周辺の環境整備及び観光ルートの化を求める意見があり、群倉周辺の用地確保の課題と、サンセットプロモーション事業推進と併せて検討していくとの答弁がありました。

また、フォレストポリスの利用について、まほろばオーキングやサッカー大会の開催時に懸念されている水不足の解消や、サッカーゴールポストの整備による利用者増をはかるべきではないかとの意見も出ました。

「農林水産業振興」については、林業について、資源の掘り起こしを行い、森林資源を活用するべきではとの意見があり、松材が枯渇している状況で、乾燥技術と併せて、島材の検討を進めるとのことでした。

「子育て支援及び教育

環境の充実」策については、0歳児保育について意見があり、現状で取れる支援体制を施しながら、将来村内における保育体制についても検討を進めていくとの答弁がありました。

「道路交通網・情報通信網・生活環境の整備促進」についての意見として、光ファイバー高速通信網やWi-Fi整備を早急に行い、企業や個人事業者の利便性の向上をはかるべきとの意見に対し、光ファイバーの整備について29、30年度で奄美市、宇検村と共同出資し、民設民営方式で進める予定であるとのことでした。

Wi-Fi整備については、光通信の整備後に取り組んでいくとの答弁がありました。

「高齢者福祉」についても高齢者の住みよい村作りについて意見があり、買い物弱者対策やシルバ

ー人材センターの早期整備をはかり高齢者が元気に働ける村作りを進めるとの答弁がありました。

「安全・安心な村づくり」については、救急体制について、高性能車両の導入についての意見に対し、ドクターヘリの発着場を各集落に確保する予定があるとの答弁がありました。

「定住促進対策」について、28年度は思勝集落に単身者向けの住宅4棟の計画があり、購入済みの空き家についても改修・改築を進め利用を促進するとの答弁がありました。

以上、一般会計予算の質疑は、17日午後～18日の午前中で終了し、その後、討論・採決を行いました。討論は無く、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

引き続き、各特別会計



現地調査①【村営住宅建設事業(思勝)】

予算についての審議を一括で行いました。

「簡易水道事業特別会計」において、大和ダムの水質は未だマンガンの含有率が安定せず、飲料水に使用できない状況が続いており、見通しは立っていないとのことでした。

関連して、各地区の水

源地周りの個人有林については、涵養林としての位置づけを明確にするべきではないかとの意見も出しました。

「国民健康保険特別会計」においては、胃がん発症の要因であるピロリ菌除菌に対する助成やB型肝炎検診及び周知についての意見がありました。

「大和診療所特別会計」においては、7月からの利用が予定される院外処方について質疑がありました。利用者の負担については、民間利用で高くなる部分を、ジェネリック薬を利用することで平均化されるのではないかと説明がありました。また、院外処方を導入することで看護師の負担が軽減される分、訪問看護の充実が図られるとの説明もありました。

「集落排水事業特別会計」においては、労務単価等の上昇により、計画の見直しが必要で、進捗遅れが予想されるとのことでした。

「大和の園特別会計」においては待機者について質問があり、減少傾向にあるとの説明がありました。また、施設の移転について、場所や時期についてさらに詰めた構想を練っていくとの答弁が

ありました。

以上、各特別会計予算の質疑は18日午後2時40分に終了し、その後一括して討論を行い、各会計ごとに採決を行いました。

その結果、どの特別会計においても討論はなく、採決の結果、全特別会計

ともに、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上のとおり、予算審議特別委員会に付託を受けました、平成28年度大和村一般会計予算を含む、8件の予算については、原案のとおり可決すべきものと決定いたしましたので、報告いたします。



現地調査②【川平線改良事業(湯湾釜)】

# 第1回定例会

平成28年第1回(3月)定例会が3月7日～23日(17日間)まで開かれ、平成27年度補正予算をはじめ、条例改正や制定及び、平成28年度当初予算などが審議されました。

なお、可決された議案(全議案可決)は、次のとおりです。

## 予 算

### ●平成27年度 一般会計補正予算(第4号補正)

補正額 1億2910万5千円

増額 29億5568万7千円

予算総額

(補正内容) 一般会計補正予算(第4号)は、歳入においては、国庫補助金や県補助金また県委託金が増額されました。歳出においては、地方創生加速化交付金事業、農業法人設立調査費また、ミカンコミバエ対策として、果実買上費を計上しました。

主な補正は次の通りとなっています。

(※一億円未満切り捨て)

(歳入)

○国庫補助金 3920万円増

○県補助金 895万4千円増

○県委託金 3370万2千円増

(歳出)

○財政管理費(津名久地区財産購入) 350万円増

○総務管理費(地方創生加速化交付金事業) 3760万円増

○農業費(果実買上費) 3355万円増

●平成27年度 簡易水道事業特別会計補正予算(第3号補正)

補正額 45万円 減額

予算総額 7629万8千円

(補正内容) 歳入においては、一般会計繰入金を減額し、歳出においては、水路ダム管理賃金の増額また、水質検査手数料を減額しました。

主な補正は次の通りとなっています。

(歳入)

○一般会計繰入金 50万円減

○雑入 5万円増

(歳出)

○水道管理費 38万6千円減

○予備費 6万4千円減

### ●平成27年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号補正)

補正額 1036万9千円増額

予算総額 3億3608万4千円

(補正内容) 歳入においては、国民健康保険税の減額、財政調整交付金や共同事業交付金等が増額され、歳出においては、高額療養費や共同事業拠出金また、国保診療所への拠出金等が増額されました。主な補正は次の通りとなっています。

(歳入)

○国民健康保険税 656万6千円減

○国庫補助金(財政調整交付金) 510万7千円増

○共同事業交付金 1133万4千円増

(歳出)

○一般被保険者高額療養費 600万円増

○保健事業費 842万円減

○操出金(国保診療所) 438万6千円増

●平成27年度 大和診療所特別会計補正予算(第3号補正)

補正額 368万1千円 増額

予算総額 9892万5千円

(補正内容) 歳入においては、特別調整交付金、他会計繰入金が増額され、

歳出においては、一般管理費の備品購入費や医薬費医薬品購入が増額されました。主な補正は次の通りとなっています。

ス給付費が減額される一方、施設介護サービス給付費が増額されました。主な補正は次の通りとなっています。

繰越ししようとするものです。  
繰越明許費  
500万円増

合納付金  
10万円増

## 条例

の減額をしようとするものです。これまで毎年1年ごとに改正していた期間を、当分の間に改正するものです。

### (歳入)

○一般会計繰入金  
96万6千円減

○その他会計繰入金  
438万6千円増

### (歳出)

○施設管理費  
85万7千円増

○医薬費  
272万4千円増

### ●平成27年度 介護保険 特別会計補正予算(第3 号補正)

補正額

167万7千円 増額

予算総額

2億9565万5千円

(補正内容) 歳入にお

ては、介護給付費負担金等が増額され、歳出において、居宅介護サー

### (歳入)

○国庫負担金(介護給付費)  
41万7千円増

○支払基金交付金  
62万3千円増

### (歳出)

○居宅介護サービス給付費  
100万円減

○施設介護サービス給付費  
265万円増

○介護予防事業費  
40万円増

### ●平成27年度 集落排水 事業特別会計補正予算 (第3号補正)

### (歳入)

○後期高齢者医療保険料  
10万円増

○総務管理費  
8万4千円減

○後期高齢者医療広域連

### ●平成27年度 後期高齢 者医療特別会計補正予算 (第3号補正)

補正額

10万円 増額  
予算総額  
2901万5千円

(補正内容) 歳入にお

ては、後期高齢者医療保険料の増額、歳出においては、人件費の減額また納付金が増額されました。主な補正は次の通りとなっています。

### ●大和村職員の給与に関 する条例の一部改正 (改正内容)

この条例は、国の人事院勧告に基づき給料表の水準の引き上げと、勤勉手当の支給率を0.1月分引き上げる改正です。

### ●大和村長等の給与の特 例に関する条例の一部改 正 (改正内容)

この条例は、国の人事院勧告による給与改定に準じて、村長、副村長、教育長、大和診療所所長、議会議員の期末手当の支給率を0.05月分引き上げる改正です。

平成27年度まで、村長、副村長、教育長の給与を特例により、それぞれ10%減額しており、引き続き28年度以降も一律10%

### ●地方公務員法の一部改 正に伴う関連条例の整備 に関する条例の一部改正 (改正内容)

地方公務員法の一部改正に伴い、大和村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例、職員の勤務時間、休暇等に関する条例、職員の給与に関する条例、職員等の旅費に関する条例の改正です。

### ●大和村行政不服審査会 条例の制定 (制定内容)

この条例は、行政不服審査法の全部改正に伴い、行政不服審査会設置が義務づけられる事により、条例を制定するものです。

●行政不服審査法の改正に伴う関連条例の整備に関する条例の一部改正

(改正内容)

行政不服審査法の全部改正に伴い、大和村行政手続条例、情報公開条例、個人情報保護条例、報酬及び費用弁償等に関する条例、職員の給与に関する条例、固定資産評価審査委員会条例、手数料条例、文化財保護条例、土地改良事業分担金等徴収条例の文言及び条項等の整備を行うものです。

●大和村乳幼児等医療費助成条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、助成対象者の年齢を引き上げるため、中学生終了前の者を18歳に達する日以後の3月31日以前の者とするものです。

●大和村ひとり親家庭医療費助成条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部改正により、文言の修正を行うものです。

●大和村希少野生動植物の保護に関する条例の一部改正

(改正内容)

鹿児島県希少野生動植物の保護に関する条例に準じて、希少動植物の捕獲等の許可に関する規定を追加することにより、条項等を整備するものです。

●大和村定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、国直地区の定住促進住宅建設に伴い、新たに定住促進住宅の名称及び位置等を設定するための改正です。また、今年度は土地の評価替えを行っており、全定

住促進住宅の月額家賃を見直す必要が生じたための改正です。

●大和村防災センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、防災センターの本格的な運用に伴い、管理に関して改正するものです。内容は休館日及び使用時間、使用の許可、使用許可の制限等を定めるものです。

●大和村中央公民館設置及び管理に関する条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、防災センターの完成に伴い、中央公民館の事務所等の機能を防災センターに置くための改正です。

その他

●訴えの提起について

(内容)

これは、平成25年度施行大金久防災会館建築工事電気設備工事において、本契約に係る工事を完成させる事が出来なかったため、社会資本整備総合交付金の一部及び起債の全部の借入を受けることができなくなったことにより生じた損害の賠償請求を行うものです。

●大和村過疎地域自立促進計画の策定について

(内容)

過疎地域自立促進特別措置法の一部改正により失効期限が5年間延長され、平成28年度から32年度まで過疎地域自立促進計画を策定するものです。

●大和村産業振興総合センターの指定管理者の指定について

(内容)

平成28年4月1日から平成30年3月31日までの2年間大和村産業振興総合センター管理協議会会長田中一幸氏を指定管理者に指定しようとするものです。

●大和村観光公園施設の指定管理者の指定について

(内容)

平成28年4月1日から平成30年3月31日までの2年間大和村観光公園施設の奄美フォレストポリス及びまほろば物産館を有限会社高倉産業代表取締役泉保雄氏を指定管理者に指定しようとするものです。

発議

●無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書について

# 気持ち新たに、議会へのぞむ

## 現職6名、新人2名が当選

任期満了に伴う村議選が5月15日に行われ、新議員が決まりました。定数8人に対して、立候補した現職議員6名全員が当選、新人2名の新たな体制となりました。党派別としては、全員が無所属です。

なお、5月31日に初議会（第1回臨時会）が招集され、議長、副議長、常任委員長などが決まりました。

**私たち8名の議員は、村民全体の代表者であることを改めて自覚し、これからも村民の皆さんの声となり、この4年間の議会活動に全力で取り組んでいく決意であります。**

### 就任のあいさつ

議長 勝山 浩平



先の選挙におきまして、再び議員という役目を頂くことができました。皆様の多様な期待に応えることができるよう、先輩方のご指導を仰ぎ頑張っていきたいと思っております。

また、同僚議員の指名推薦を頂き、議長という役目に就任させていただくことになりました。

同僚議員の皆さんと同様に先の選挙において、公約、政策を訴え選挙戦を戦ってきましたが、私は公約の大きな柱に議会の在り方を訴えてきました。基本条例を制定し、

それに基づいた議会運営に取り組んできました。より村民に開かれた身近な議会として、村民の多様な意見、声を政策に取りまとめ、頑張っていけるような議会にしてまいりたいと思います。まず第一に議会基本条例を遵守した、基づいた議会運営を行っていくこと、具体的な政策をして議会報告会、議員と語る会、多様な村民に分かりやすいよう、各集落・各団体へ出向いて意見を取りまとめ、議会場でぶつけていく、そういった議会にしていきたいと思います。

また、日曜議会、夜間議会の開催や政策条例の作成の為に広域的な連携、広報誌の充実、傍聴者や村民へ分かりやすい議会内容への変換等も検討していきたいと思っております。若輩者ではありますが、

役場職員、同僚議員、ベテラン議員のご指導を仰ぎ村民の期待に応えられるようがんばってまいります。

副議長 民 文忠



この度、議員各位の推挙によりまして、副議長の職に就くことになりました。

もとより、浅学非才な私でございますが、若さや行動力のある勝山浩平新議長のもと、議会の発展と村民福祉の向上に向けて皆様のご期待に応えられますよう、頑張っていきたいと思っております。

皆様方のご支援を今後とも、よろしくお願い申し上げます。

# 各委員会紹介

議会で調査する事項は非常に広いため、別に委員会を設けて、専門的に調査等を行います。

## 総務建設委員会

行政全般にかかわる事項を調査します。

※紹介は正副委員長を除き、議席順と なっています。

※年齢は5月31日現在

委員長 蔵 正



52歳・農 業  
当選3回・湯湾釜

副委員長 重信 安男



49歳・自営業  
当選1回・大和浜

委員 前田 清和



47歳・団体役員  
当選1回・大 棚

委員 勝山 浩平



41歳・団体職員  
当選4回・名 音

委員 民 文忠



61歳・農 業  
当選5回・名 音

委員 池田 幸一



80歳・農 業  
当選5回・津名久

委員 宮田 到



67歳・農 業  
当選8回・今 里

委員 奥田 忠廣



71歳・団体役員  
当選11回・大和浜

## 議会運営委員会

議会運営を円滑にするために意見調整を図り、主に定例議会前において、議会の期の日程などを決めます。

委員長 民 文忠

副委員長 蔵 正

委員 宮田 到

委員 池田 幸一

## 議会広報委員会

村民に親しまれる「議会だより」を目指して編集に努めます。

委員長 民 文忠

副委員長 蔵 正

委員 宮田 到

委員 池田 幸一

## 監査委員（議会選出）

池田 幸一

村の財政に関する事務の執行や経営にかかる事業の管理などを監査し、代表監査委員と共に2名体制で監査を行います。

## 大島地区消防組合

### 議会議員

前田 清和

大島本島5市町村と喜界町で構成されている一部事務組合であり、消防に関する共同処理事務を行っています。（事務所・消防組合本部内）

## 大島地区衛生組合

### 議会議員

奥田 忠廣

大島本島5市町村で構成している一部事務組合であり、奄美市に設置されている「ごみ処理施設」（名瀬クリーンセンター）の維持管理などの共同処理事務を行っています。（事務所・名瀬クリーンセンター内）

## 奄美大島地区介護保険 一部事務組合議会議員

重信 安男

大島本島5市町村と喜界町で構成されている一部事務組合であり、介護保険法の規定に基づく介護認定審査会の審査判定業務や要介護認定・要支援認定に関する共同処理事務を行っています。（事務所・奄美市名瀬幸町）

## 大島農業共済事務組合 議会議員

蔵 正

大島本島5市町村と喜界町で構成されている一部事務組合であり、農業災害補償法に基づく農業共済事業の共同処理事務を行っています。（事務所・奄美市笠利町中金久）



## 新人議員から一言

### 前田 清和 議員

これから村発展のため、しっかりと村民目線に立ち、一人ひとりの声を真摯に聞き取り、村民の皆様方が安心して安全に暮らせる村づくりを目指し、大和村民の福祉向上に重きをおいて、住民の代表者として誠心誠意勤め切る所存です。

### 重信 安男 議員

私のスローガンは、「為せば成る」の精神で事にあたり、村民主体の村民のための政治を行っていくことです。皆様が安心して暮らせるよう、急な災害に対処できる各集落の避難所設置等、より安全な新しい村づくりを目指し全力を尽くします。

# 第1回臨時会

5月31日、村議会議員改選後における初議会（第1回臨時会）が招集され、正副議長の選挙をはじめ、各委員会構成、各一部事務組合議員、監査委員が選任されました。

（※前頁に記載）

その他、平成27年度各会計の最終補正予算や条例改正に係る、11件の専決処分案件が承認されました。

## 予 算

### ●平成27年度 一般会計

#### 補正予算の専決処分承認

補正額（第5号補正）

1億675万8千円

増額

予算総額

30億6244万5千円

※内、平成28年度への繰

越明許額（社会資本整備

総合交付金事業等）

2億6715万5千円

平成27年度の予算執行

確定に伴う最終補正予算

であり、主な歳入・歳出

補正予算は次の通りとなっ

ています。

なお、地方創生加速化

交付金事業や防災関連施

設整備事業等の一部につ

いては、平成28年度へ繰

り越されることになって

います。

（歳入）

○村税

60万7千円減

○地方譲与税

138万2千円増

○地方交付税

6954万1千円増

○使用料等

1264万8千円増

○国庫支出金

595万4千円減

○県支出金

423万5千円減

○村債

90万円増

（歳出）

○財政調整基金積立

1億2200万円増

○減債基金積立

5000万円増

○定住促進費

382万円減

○農業振興費

387万円減

○公営住宅建設事業費

311万円減

○常備消防費

600万円減

○林道災害復旧費

844万円減

○公債費（償還利子）

300万円減

### ●平成27年度 簡易水道

#### 事業特別会計補正予算の

#### 専決処分承認

補正額（4号補正）

162万9千円 減額

予算総額

7466万9千円

水道使用料をはじめ、

繰入金等の確定及び事業

実績に伴う最終補正予算

です。

### ●平成27年度 国民健康

#### 保険特別会計補正予算の

#### 専決処分承認

補正額（4号補正）

673万6千円 減額

予算総額

3億2934万8千円

保険税をはじめ、国・県支出金や交付金の確定及び、各事業等の確定に伴う最終補正予算です。

実績に伴う最終補正予算です。

性能割の導入等の改正です。

## 契 約

●平成28年度施工 水槽付消防ポンプ自動車購入業務契約締結

●平成27年度 大和診療所特別会計補正予算の専決処分承認

●平成27年度 集落排水事業特別会計補正予算の専決処分承認

●平成27年度 後期高齢者医療特別会計補正予算の専決処分承認

●大和村国民健康保険税条例の一部改正（専決処分承認）

（内 容）

補正額（4号補正）

184万4千円 増額

予算総額

2億6678万8千円

予算総額

2839万4千円

予算総額

1億76万9千円

使用料をはじめ、繰入金や村債の確定及び、事業実績等に伴う最終補正予算です。

後期高齢者医療保険料や繰入金の確定及び、保健事業費等の実績に伴う最終補正予算です。

（改正内容）  
地方税法等の一部改正に伴い、課税限度額の引き上げ及び5割軽減、2割軽減の基準額の見直しを行うものです。

○大和消防分駐所の水槽付ポンプ車は、平成9年購入で19年経過しており老朽化が激しく、毎年修理もしており村民の安全安心の向上を図る目的で今回新たに購入する。

診療収入をはじめ、繰入金や諸収入等の確定及び、診療所運営実績に伴う最終補正予算です。

●平成27年度 大和の園特別会計補正予算の専決処分承認

●大和村固定資産評価審査委員会条例の一部改正（専決処分承認）

（改正内容）  
行政不服審査法が平成28年4月1日から施行されたのに伴う、字句の変更及び適用年月日等の改正です。

○契約金額  
5572万8千円

○契約相手方

住 所 鹿児島市松原町12番32号

氏 名 鹿児島森田ポ

ンプ株式会社

代表取締役

尾曲 昭二

●平成27年度 介護保険特別会計補正予算の専決処分承認

補正額（2号補正）

1160万円減額

予算総額

1億8867万6千円

補正額（4号補正）

2366万2千円減額

予算総額

2億7199万3千円

国・県支出金をはじめ、交付金等の確定及び、保

一般管理費をはじめ、介護給付費収入や自己負担金収入等の確定及び、施設介護サービス事業の

（改正内容）  
地方税法等の一部改正に伴い、法人村民税の税率の改正、個人住民税の医療費控除特例創設また、軽自動車税における環境

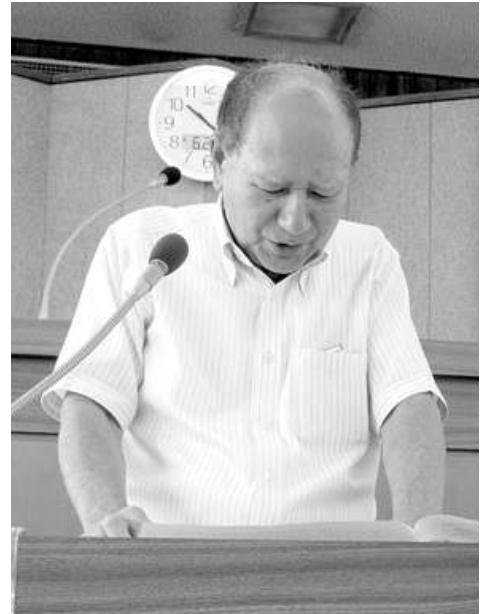
## 第2回 定例会 一般質問(6人)

平成28年第2回定例会(6月)において、6名の議員が一般質問を行い、ヒエン浜に通じる個人所有地内私道の活用、蓄電池付防犯灯の設置、村営住宅及び村管理住宅の維持管理、チャレンジ支援対策、大和村民が安心して暮らせる安全な新しい村づくり、シルバー人材センター設立などについての行政施策をたどしました。質問及び答弁要旨については次のとおりです。なお、質問者が皆様にお伝えしたい内容を前面に出せる表記を行うために、編集のあり方は各議員の裁量としております。

(6月21日 本会議)

### ヒエン浜に通じる 個人所有地内私道 の活用について

ヒエン浜に通じる個人所有地内に私道があるが、多くの村民及び観光客が私道と知らず、一般道路として利用している。村がこの私道を買上げ安心して利用できるような維持管理できないか。将来的に多様な活路が見いだせると期待されるが、村



池田幸一 議員

長は関心が持たれるのか。

(答弁) ヒエン浜の自然

の素晴らしさは村の自慢できるものと認識している。公道となれば、不特定多数の方々の利用から通行量増が予想され、駐車場やＵターン場所も必要になる。人と車の安全対策や、現在お住まいの方の安全対策にも配慮の必要が生じる。現地は国定公園第三種区域内でも

あり、関係機関との調整が必要など、クリアすべき課題も多い。近くの県道上に駐車スペースもあるので、その場所が利用上安全性も保たれているというふうに思っている。

私道を利用する方が、海岸に行くのに便利とのこと。利便性につなげるものではないか。また、村が私道を買上げて維持管理する中で、アダンの群生やオカヤドカリ等、自然保護の面からもよいのではないか。私道を肩身の狭い思いで通っている方々が、普通の道路として利用できればという思いである。今の駐車場を利用することだけでなく、

利便性を保つためにも何とか村で取り組むという考えは将来的にも考えられないか。

(答弁) 公道を通すには

安全対策や地権者との交渉を含め整備が必要。公道としての必要性諸々も含め、調査もしなければ、今現在で、我々も整備が必要かどうかははっきり申し上げられない。また、海岸を歩き自然を見ても、もうことも大切との観点から、現状のままの利用が安全性からいいという考えもある。訪れた皆さんがどういう形でヒエン浜を散策するのか、利用されるのかも含めて、検討しなければならぬと考えている。



民 文 忠 議員

## 蓄電池付防犯灯の設置について

蓄電池付防犯灯を設置することで、停電しても道の明るさを保つことができ、安全に避難しやすいになる。避難場所への道しるべにもなる。台風では停電も多く、津波発生時には高台へ避難をしなければならぬ本村にとつては「備えあれば憂いなし」

し」準備が必要。費用は1基あたり約6万円程。既に設置を始めた自治体は「非常時の防犯灯を数多く設置することは最適、明るさも十分確保できる」とコメントしている。

(答弁) 災害時の停電対策として、各集落の避難所等に非常用発電機を整備した。財政的負担が大きい為、防犯灯について

の優先順位としてはまずLED化を行いたい。現在の夜間の避難対策としては自主防衛組織を使って避難誘導を進め、蓄電池付防犯灯の設置については、住民の安全・安心の向上を図る上で、次の段階として十分な検討が必要。

## 緊急ベルについて

この質問は、高齢者の孤独死を防ぎたく何回も質問している。希望があれば設置OKとなっているが、個人負担がある為設置が難しいと思われる。ベルの啓発についてもなかなか浸透していない。20件進めても10万円台なの

であれば、高齢者の命を守るため、村が個人負担分を負担できないか。

(答弁) 6月現在9名の村民の方に設置がされており、1件が取り付け対応中。設置後に発生する月々の通信料は全額村が負担している。設置工事費用は6、480円（以前は4、980円だったが、今年度から6、480円）。撤去は役場が対応しており、設置工事分が個人負担である。設置や助成のあり方については総合的に判断して進めたい。

各集落では地域支え団体がサロン等を実施し、

見守りや安否確認等がなされている。役場でも保健師等により独居高齢者宅の訪問による体調確認等を行っている（平成27年度で140件程）。

救急時に必要な情報をまとめている緊急医療情報カードの啓発はどのようにしているか。

(答弁) 冷蔵庫にマグネットで貼ることができるファイル式のものを160軒設置している。年数が経っているので保健師と見直しを行い、平成27年度でカード156軒の家を訪問・確認している。



前田清和 議員

## 村営住宅及び村管理住宅の維持管理について

築10年未満の住宅でも、玄関入り口、水道メーター検針の扉等錆びが多い。定期的な住宅点検を行い、補修・改修の計画を立てるべき。現状把握はしているのか。

(答弁) 調査を行い優先順位で修繕を行う。水道

メーターは先月の事務嘱

託員会で初めて御意見を伺ったところなので、検針員の協力を得て早急に改善する。

当局は住宅建設また空き家、空き地の購入等で定住促進を進め頑張っている。しかし、既存の住宅を改修しないのはいかなるものか。住民は、村に家賃を払

って住んでいる。ちなみに、6月1日現在、171戸の住宅で空き家は何戸か。

(答弁) 募集している住宅が7戸。募集していない住宅が2戸。

9戸も空いているのが現状。大和村に住みたくても、古い住宅ではもう遠慮しようとなるのではないか。今入居している方々へのサーブスガ、当局への信頼につながるのではないか。また、空き室の共益費については、村が負担するべきではないか。

現在主流の住宅4戸の共益費は、維持管理費として1万円から1万2,000円(浄化槽、電気代、水道代)。空きがある負担額が増えるが、そんな冷たい行政でいいのか。

(答弁) 役場業務の遅れで空きが続いた場合は村が負担するべき。入居戸数が少ない場合、電気水道代は入居者負担額が増えるが、浄化槽清掃代は入居戸数に関係なく1戸あたりの額を徴収している。水道代は、入居しないと使えないこともあるので、基本料金の助成等負担額について検討したい。

住宅料は村が徴収するが、浄化槽、電気代、水道代すべて村が持つということ、住宅料プラス共益金という徴収方法はできないか。

(答弁) 住宅料徴収も苦労しているのが現状。プラス共益費となると難しさも出てくるが、他市町村にも問い合わせ調べてみたい。

住宅の管理や補修については、住民に代わって早い対応をしてほしい。台風の時期がやってくる。苦情がある前に、しっかりと対応をお願いしたい。



蔵 正 議員

## チャレンジ支援対策について

まほろば館において、農産物の加工技術をアドバイスできるような人材を配置し、個人やグループ等で加工品作りに取り組み、収益アップが図れるような環境作りに手がけていくべきではないか。

(答弁) 配置できる人材がない。当面は地域お

こし協力隊を活用しながら、人材育成に取り組む。

加工品が即換金できるような販売ルートの整備を図るべきではないか。

(答弁) まほろば館を中心に、まほろば号による移動販売や島内外でのイベント及びクルーズ船への対応、お歳暮やお中元の斡旋などで対応している。

どちらかというと、生産量の確保に課題があると認識している。

収益向上を目指す個人や団体を応援する、チャレンジ支援基金の創設は出来ないか。

(答弁) 総合戦略の中で、これまでの行政指導型から民間発想、民間主導へ転嫁し、ハード、ソフト両面から支援し、民間からの意見を聞きながら、基金創設についても検討していく。

## 子育て支援策について

学童保育における指導員の確保が困難な状況にあるが、行政サイドから何らかの支援策は

考えられないか。

(答弁) 広報誌やホームページで広く周知を行っていく。保育時間が短時間の勤務体制という課題については、行政職と併せた勤務体制が取れないか検討する。

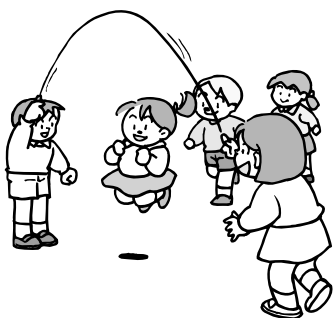
## コーディネーショントレーニングの導入について

近年のゲーム世代の子供達は、外で遊ぶ機会が少なく、基礎的な体の動きがスムーズに出

来ない子が多い。幼少期からコーディネーショントレーニング(以下トレーニング)を行うことで後を選択する多様な競技への対応が

可能になる。本村でもトレーニングを導入してはどうか。

(答弁) 小中学校においてトレーニングまでは必要ないと考えるが、指導者向けのトレーニングの研修会を持つとか指導に当たっている先生方から意見を聞き対応したい。幼児期のトレーニングの導入は重要だと考える。保育所と関係課と連携を取り、必要性があれば導入を検討する。





重 信 安 男 議員

## 大和村民が安心して暮らせる安全な新しい村づくりについて

大地震や津波などの災害対策として、高台など土地の整備、各集落の避難所設置を早急に行うことが安心・安全な新しい村づくりになり、村民を守ることが出来る。急な災害時への対策として、具体的

な政策・整備はなされているのか。

(答弁) 奄美豪雨以降、

防災減災対策に取り組んでいる。具体的には、全村民対象で総合防災訓練を実施・村内88か所に海拔表示板を設置・村内全世界へ防災マップを配布・避難所としての機能強化の為に各集落公民館に非常用発電機を設置・防災センターの建設等。今後

も引き続き取り組んでいく。

急傾斜地の工事設計に、各集落一か所ずつ高台避難所を設置するよう盛り込めば、急な津波への災害対策になる。

また、大きくなくても、集落が見渡せるぐらいの展望台の様な公園を整備すれば避難所としても使える。国・県へ要望し検討を進めてはどうか。防災計画を見直し、災害に強い村づくり、急傾斜地対策事業や高潮対策事業の推進に努めていただきたい。

(答弁) 急傾斜地について

は県の事業で進んでいる。現在は大和浜と津名久で進んでおり、今年度

から大金久も整備開始予定。県予算を見ながら随時整備される。今後も、

急を要する箇所、危険性の高い所を優先的に県に要望しているが、公共施設・住宅が優先的に計画されている。急峻な岩山である永田地区と松崎地区については大島支庁の担当と現場確認をし、今年度、工事に入る前の事前測量ができるか検討している。

高台の避難所整備については、集落近くにある程度の箇所を決めている。現在、非常用発電機に予算を回した関係で整備が遅れているが、避難先が遠い集落を優先して考えており、津波避難の防災公園として整備できないかも協議している。

村に一つしかない特別養護老人ホーム(大和の園)は、高台を整備し、安全な場所への移転検討を進めてはどうか。

(答弁) 大和の園は、津

波に対し気弱な立地の為、被害が予測され、避難対応に困難をきたすと予想している。移転先は高台が理想であり、災害時に入所者が安全安心に生活できる場所を確保したい。大和の園に限らず、公共施設の高台移転というのは村の構想の中にあるが、場所等についてはまだ検討中である。今後、慎重に検討を進めたい。

## シルバー人材センター設立について



奥田 忠 廣 議員

私は選挙公約の一つとして、シルバー人材センター（以下センター）設立を掲げてきた。本村人口の38・5％は65歳以上の高齢者で約600名いる。設立計画において、引退したばかりで多彩なスキルを持つシニア層に活動してもらうのは当然。しかし、中には小額年金受給者の方もいる。元気で小額年金受給者の方々は、

男女問わず、優先的に登録すべきではないか。1日中の作業ではなく、その人の体力に合わせ1時間でも2時間でも軽作業をしてもらう。少ない年金の受給者は、月に1万円でも2万円でも、年金以外の収入源確保をすることで、気力、体力、健康づくり様々な効果を生み出す。この体制作りができるセンターこそが、本村に住み続けた高齢者に対する行政の最も果たすべき役割と考える。

（答弁）センターは、高齢者が経験と知識を発揮し、地域活性化の中心的人物になつてもらう為に必要な組織。やりがい、生きがいを創出し、生涯活躍の村づくり推進につながる。

センター機能を併せ持つ農業法人設立の検討も行いたい。（現在、村ホームページで設立可能性調査事業の企画・公募を開始。）

目的：調査検討及び自立運営のあり方を明らかにする。

事業効果：新たな雇用の創出、定住人口の増加、地場産の活性化、就農支援、観光交流の促進、高齢者のやりがい・生きがいの創出等。自立運営の為、収益部門の整備を大切に、センター部門も設置したい。収益事業とともに、高齢者が作業に対する対価を得ることで、やりがい・

生きがいを感じられる場の創出を図りたい。

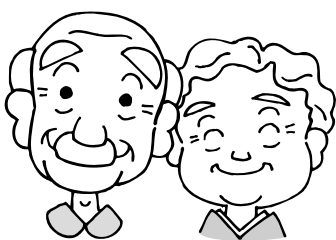
所得収入の低い方を優先して雇用するべきとの考えについては、センターを設立運営していく中で議論されることだが、当然配慮されるべきものだと考えている。

農業法人をつくり、センターをはめ込んでいく。これを別々にできないのか。

（答弁）国の加速化交付金で農業法人設立が該当したので、雇用の創出という点からセンターを含んだ計画を進めている。

## 人口減少について

3月議会でも質問したが、自治体の最大課題は人口減少にどう歯止めをかけるか。65歳以上の7％超えを「高齢化社会」、14％超えを「高齢社会」、21％超えを「超高齢社会」と言うが、本村は38.5％であり、38％を超える社会の呼び方はない。合計特殊出生率（女性が生涯に産む子どもの数）は、本村総合戦略で2.1と想定しているが、国は1.35と想定している。他町村にない本村だけの秘策を講じなければ人口減少に歯止めはかからない。今後の人口減少問題取組について、どう思うか。



（答弁）国立社会保険人口問題研究所の推計では、本村人口は平成27年1、633名となっているが、



国勢調査では1、529名。推計値より104名も下回る厳しい現実があり、このままでは2060年の717人という推計値も下回ることが懸念される。総合戦略では、地方創生事業を効果的に実施し、成果を得ることが大切。目標数値の検証をしながら、事業の進め方、取組み方を考える必要がある。

人口減少問題で、婚活イベントを行政がするのか。雇用の問題、生活基盤を含め、人口の歯止めをかけないと、いろんな計画が総崩れになるのではないか。

(答弁) 我々も危機感を持っていて。身近なところから何かをやっていく。その行動を起こすうえで、まず年内に婚活の取組をしていきたい。

## 第2回 定例会

平成28年第2回(6月)定例会が6月17日～21日(5日間)まで開かれ、一般会計補正予算をはじめ、条例の改正や制定、人事案件などの議案が審議され、すべての議案が可決されました。

可決された議案は、次のとおりです。

### 予 算

#### ●平成28年度 大和村一般会計補正予算(第1号補正)

補正額

2945万7千円

増額

予算総額  
26億4821万5千円

(補正内容) 歳入においては、県補助金や基金からの繰入金などが増額され、歳出においては、津

名久集落内の土地購入経費、地域振興推進事業費において板付け船5艇作製委託料、選挙費で県知

事選、参議院選の自動式投票用紙読み取り分類機リース料。また、災害対策費で災害用備蓄品購入

経費などが増額されました。

主な補正は次の通りとなっています。

(歳入)

○県補助金  
207万円増

○財政調整基金繰入金  
2420万円増

(歳出)

○公有財産購入費  
360万円増

○板付け舟作製委託料  
420万円増

○選挙費(電算機器・システムリース料)  
160万円増

○災害対策費(備蓄品購入)  
400万円増

#### ●平成28年度 簡易水道事業特別会計補正予算(第1号補正)

補正額

91万6千円

増額

予算総額  
7538万4千円

(補正内容) 歳入においては、一般会計繰入金及び、水道管移設補償費が増額され、歳出において

は、国直浄水場配水池電動弁の修理や国直トンネル工事に伴う排水管移設

工事費などが増額されました。

した。

(歳入)

○一般会計繰入金  
30万円増

○雑入(水道管移設補償費)  
61万円増

(歳出)

○施設管理費  
95万円増

#### ●平成28年度 国民健康保険特別会計補正予算(第1号補正)

補正額

65万6千円

増額

予算総額  
3億2075万3千円

(補正内容) 歳入においては、一般会計繰入金が増額され、歳出においては、人件費等が増額されました。

(歳入)

○一般会計繰入金  
65万6千円増

(歳 出)  
○一般管理費  
65万7千円増

予算総額  
2億9629万3千円

予算総額  
2981万1千円

●平成28年度 大和診療  
所特別会計補正予算(第  
1号補正)

補正額

750万円 減額

予算総額

9791万9千円

(補正内容) 歳入におい  
ては、国・県補助金の増  
額、一般会計繰入金及び  
村債が増額され、歳出に  
おいては、西部地区終末  
処理場の修繕費、工事請  
負費等が増額されました。

(補正内容) 歳入におい  
ては、一般会計繰入金や  
雑入が増額され、歳出に  
おいては、人件費等並び  
にタラソ助成金が増額さ  
れました。

(補正内容) 歳入におい  
ては、一般会計繰入金  
が減額され、歳出におい  
ては、人件費等が減額さ  
れました。

(歳 入)

○国・県補助金

515万6千円増

○一般会計繰入金

1120万円増

○村 債

390万円増

(歳 入)

○一般会計繰入金

14万8千円増

○雑 入

30万円増

(歳 出)

○一般管理費

14万8千円増

○保健事業費

30万円増

(歳 入)

○一般会計繰入金

750万円減

(歳 出)

○総務管理費

304万円増

○事業費

1720万円増

(歳 出)

○一般管理費

758万7千円減

●平成28年度 集落排水  
事業特別会計補正予算  
(第1号補正)

補正額

2025万6千円 増額

●平成28年度 後期高齢  
者医療特別会計補正予算  
(第1号補正)

補正額

44万8千円 増額

条 例

●大和村定住促進住宅の  
設置及び管理に関する条  
例の一部改正  
(改正内容)

今回の改正内容は、津  
名久地区に定住促進用と  
して住宅一棟を購入した

事に伴い、住宅の名称及  
び位置などを設定したも  
のです。

●大和村子どものための  
教育・保育に関する利用  
者負担額を定める条例の  
制定  
(改正内容)

この条例は、村内の児  
童が他市町村への広域入  
所等により施設型給付施  
設、地域型保育給付施設  
を利用するにあたり、利  
用者負担額を定めるもの  
です。

同 意

●大和村監査委員の選任  
について

識見監査委員の任期満  
了に伴い、次の方が選任  
されました。

住 所 大和村大金久

32番地

氏 名 元野 吉八郎氏

そ の 他

●大和村過疎地域自立促  
進計画の変更について

過疎地域自立促進計画  
は、平成28年度～32年度  
までの5年間を策定して  
いますが、今回、事業計  
画の変更及び追加に伴い、  
計画を一部変更するもの  
です。

●大和村辺地に係る総合  
整備計画の変更について

辺地に係る総合整備計  
画は、平成25年度～29年  
度までの5年間を策定し  
ていますが、今回、事業  
計画の変更及び追加に伴  
い、計画を一部変更する  
ものです。

請願・陳情の審議結果

件 名 義務教育費国庫  
負担制度拡充に  
係る請願

結 果 採 択

発議(議員提出の議案)

●義務教育費国庫負担制  
度の拡充を求める意見書  
(可 決)

# 議会の動き

平成27年

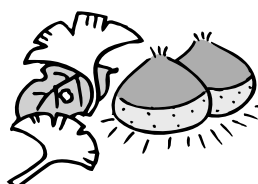
【12月】

9日 第4回大和村議会定例会（補正予算・条例等）開会  
20日 定例会・最終本会議 日曜議会  
（一般質問・その他）閉会

平成28年

【1月】

4日 大和村成人式（村体育館・議員）  
10日 大和村消防出初め式（大和校・議員）  
12日 大島本島南部議会連絡会（瀬戸内町・議長・副議長）  
14日 公明党ティダ委員会・新春政経懇話会  
（奄美市・議長）



20日 陸上自衛隊西部方面総監歓迎会（奄美市・議長）  
27日 知事との意見交換会・町村議会理事会  
（鹿児島市・議長）

28日 役員政務調査（熊本県玉東町・議長）

【2月】

10日 第34回南部町村議会議員大会（瀬戸内町・議員）  
12日 奄美群島市町村議会議員研修会（奄美市・議員）  
16日 県町村議会議長会定期総会（鹿児島市・議長）  
県離島振興町村議会議長会定期総会（鹿児島市・議長）

17日 県町村監査委員協議会定期総会等  
（鹿児島市・議選監査委員）

18日 大和村防災センター落成式・祝賀会  
（防災センター・議員）

24日 第1回組合議会定例会（鹿児島市・議長）

25日 市町村議会議長会（奄美市・副議長）  
市町村長・議会議長合同会（奄美市・副議長）

26日 奄美群島広域事務組合議会（奄美市・副議長）  
大島地区衛生組合議会定例会（奄美市・奥田議員）

大島地区消防組合議会定例会（奄美市・梅畑議員）  
大島地区介護保険一部事務組合定例会  
（奄美市・池田議員）

29日 大島農業共済事務組合定例会（奄美市・蔵議員）  
議会運営委員会（議員控室・運営委員）

【3月】

7日 大和村議会第1回定例会開会

8日 予算審議特別委員会現地調査

11日 定例会（一般質問 4名）

15日 大和中学校卒業式（議員）

17日 予算審議特別委員会（一般会計）

18日 予算審議特別委員会（一般会計・特別会計）

23日 定例会最終本会議

24日 村内小学校卒業式（議員）



【4月】

- 5日 第1回町村議会議長会理事会（鹿児島市・議長）
- 6日 村内小学校・大和中学校入学式（村内・議員）
- 8日 南部議会連絡会役員会（宇検村・議長・副議長）
- 14日 議長・事務局長合同会（奄美市・議長・局長）
- 19日 南部議会連絡会陳情（鹿児島市・議長）
- 25～28日 県政説明会（鹿児島市・議長）

【5月】

- 18～20日 第59回奄美群島市町村議会議員大会（喜界町・全議員）
- 24日 議員懇談会（初議会運営打合せ）（議員控室・全員）
- 31日 第1回大和村議会臨時会（改選後初議会）

【6月】

- 2日 奄美群島地域産業振興基金協会評議員会（奄美市・議長）
- 奄美群島広域事務組合事務連絡（奄美市・議長）
- 奄美群島航路対策協議会（奄美市・議長）
- 奄美群島大島紬振興対策協議会総会（奄美市・議長）
- 議会運営委員会（議員控室）
- 10日 大和村連合郷友会総会及び懇親会（奄美市・議員）
- 14日 定例会勉強会（議員控室・議員）
- 17日 第2回大和村議会定例会（補正予算・条例等）
- 14日 定例会最終本会議（一般質問・その他）



## 編集後記

村民の皆さんこんにちは、今年の台風はなぜか奄美を避けてくれたおかげで、大きな災害もなく安心した所でもあります。また、集落最大のイベントであります豊年祭も終わり、皆様方も一段落されたことと思います。

さて、議会だよりですが、今回も2回分をまとめて発行する事になりましたことをお詫びいたします。紙面からは詳細まで分からない部分もあるかと思いますが、近々、集落公民館及び防災会館に一部ずつ議会議事録を置くことになりました。機会があれば拝読頂き、少しでも議会の中身をご理解頂けたら幸いに思います。

この号が発行される頃には、今年も二ヶ月を切っているかと思えます。朝晩涼しくもなってきましたので、気候の変化に気をつけられお元気にお過ごし下さい。

広報委員長 民 文忠  
広報委員 蔵 正

〃 宮田 到  
〃 池田 幸一